

科目名 (科目番号)	遺伝子分析科学 (時間割参照)	教員名 伊藤 慶	学科等	臨床検査	選択	履修年次	3
	曜日・時限等		時間割表参照	単位数	1		
	授業形態		講義	オフィスアワー	前期月2・後期木4 B319研究室		
授業概要	遺伝子分析科学認定認定士試験のテキストを基本に遺伝子関連検査に必要な知識を基礎から復習し、技術、実践、評価法を一通り学修する。また、動画試験や実技試験も含まれているため、マイクロピペットの使い方など、基本操作を実践し、練習する。遺伝子検査の操作を項目ごとに目的や注意点を確認していく。						
目的・目標	目的:遺伝子分析科学認定認定士試験の合格 目標:遺伝子分析科学認定認定士試験の合格レベルに達する事。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	医学的な基礎知識 遺伝子関連検査に必要な知識	到達目標:大学で学んだ知識の総復習し、遺伝子関連検査に関わる医学知識を確認する。 学習内容:医学知識全般、ラボラトリーセーフティ、機器の取り扱い、試薬の調整、検体の取り扱い、精度管理、関連法律などを学修する。				
	2	臨床遺伝学的検査	到達目標:臨床遺伝学的検査がどのように使用されているかを理解する。 学習内容:疾患関連遺伝子の同定、検査結果の解釈、検査の種類について学修する				
	3	遺伝子関連検査の技術	到達目標:検査の技術的な方法を理解する。 学習内容:核酸の抽出、増幅、検出法を学修する。				
	4	遺伝学的検査の実践	到達目標:医療における遺伝子検査を理解し、遺伝倫理を十分に得る。 学習内容:遺伝医療、遺伝子関連情報の取得、遺伝倫理				
	5	遺伝子関連検査結果の評価	到達目標:遺伝子関連検査の結果からどんな評価が得られるかを理解する。 学習内容:各分野の結果の評価法を学修する。 (単一遺伝子疾患、感染症、血液疾患、がん、個人識別、ファーマコゲノミクス)				
	6	染色体検査の技術	到達目標:染色体検査に関わる知識、技術を理解する。 学習内容:染色体の基礎知識、細胞培養法、標本作製法、核型分析等について学修する				
	7	染色体検査の実践、評価	到達目標:染色体検査の流れを理解できる。 学習内容:細胞培養法を実際に経験してみる。				
	8	実技、まとめ	到達目標:検査技術の流れを理解する。 学習内容:遺伝子関連検査で必要な技術を実践する。				
成績評価の方法・基準	期末試験(100%) (対面・オンライン共通)						
教科書	「遺伝子検査技術」改訂第3版		一般社団法人日本遺伝子分析科学同学院 遺伝子分析科学認定士制度委員会		宇宙堂八木書店		
参考図書							
教員からのメッセージ	この講義は、質疑応答を中心とし、私から1からテキストの内容を説明していくことはしません。各自が予習し、理解出来ない所を聴取し、補足のために時間を費やします。また、実技も兼ねますので、実技内容を事前に理解しておく必要があります。自ら勉強していく姿勢は、認定試験だけでなく、臨床検査技師国家試験勉強には必要となりますので、今から徐々に習慣付けましょう。オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。						